

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 13 日

事務事業名		真壁伝承館管理事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	030203000635
		総合計画の施策名			単独/補助		所属課	090601
		O302 生涯学習・芸術文化活動の推進			主要事業	対象外		生涯学習課
		政策名			市長マニフェスト	対象外		
		O3 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			未来PJ事業	対象外	グループ	文化振興G
		施策名			合併建設計画事業			
		O2 生涯学習・芸術文化活動の推進			合併建設計画事業			
		基本事業名						
		O3 生涯学習・文化施設の充実			事業期間			
		財務会計上の位置付け			単年度繰返し (年度~)			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	10	05	02	05	00	真壁伝承館管理事業	
法令根拠					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
桜川市真壁伝承館の設置及び管理等に関する条例								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
この事業は管理委託業務事業と直営事業にて行っている。委託業務は(13)委託業者に委託し維持管理を行っている。委託業務は次のとおりである。 清掃業務委託・夜間警備業務・消防点検・自動ドア保守点検・電機工作物保守点検・昇降機保守点検・各種舞台装置(吊物/音響/照明)など	承館の運営管理としての貸館業務委託以外には、敷地内の清掃、草取り(除草剤の散布)、館内の清掃、各所の簡易的な補修改善(壁・床の補修、戸の調整、電球の取替えなど)の維持管理を行っている。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
各所の簡易的な補修改善(壁・床の補修、戸の調整、電球の取替えなど)の維持管理	維持管理委託件数	件	8.00	7.00	8.00	7.00	8.00
	貸出日数	日	294.00	292.00	359.00	359.00	359.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
真壁伝承館(歴史資料館・真壁図書館を含む)	真壁伝承館の面積	m ²	2,742.00	2,742.00	2,742.00	2,742.00	2,742.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
施設を長く使用可能な状態へと維持管理していく。	開館日数	日	299.00	292.00	359.00	359.00	359.00
	来館者数	人	146,695.00	150,000.00	150,000.00	150,000.00	150,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	1,327	0	0	0
		その他	千円	0	88	0	0	0
		一般財源	千円	12,785	15,468	20,922	22,000	23,000
	事業費計(A)	千円	12,785	16,883	20,922	22,000	23,000	25,000
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	5.00人	7.00人	7.00人	7.00人	
	述べ業務時間	時間	1,920.00	1,920.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	
	人件費計(B)	千円	5,570	5,570	5,802	5,802	5,802	
トータルコスト(A)+(B)		千円	18,355	22,453	26,724	27,802	28,802	

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
	01 報酬	2,487		01 報酬	8,789	
	07 賃金	3,479		09 旅費	88	
	09 旅費	38		11 需用費	6,029	
	11 需用費	5,098		12 役務費	37	
	12 役務費	254		13 委託料	5,459	
	13 委託料	5,033		14 使用料及び賃借料	485	
	14 使用料及び賃借料	454		18 備品購入費	35	
	18 備品購入費	40				
		合計	16,883		合計	20,922

(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 				

事務事業名	真壁伝承館管理事業	事務事業No.	30203000635	所属課	生涯学習課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成23年9月、真壁伝承館開館による運用開始。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	もっと伝承館の存在を知ってもらおうと共に、所在地がわかりやすい案内が欲しい。 みんなが使いやすい伝承館になるように創意工夫してほしい。 みんなが楽しめる活動があるとよい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	生涯学習課(生涯学習拠点)・文化施設の充実に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地域住民の生涯学習活動の場、コミュニケーションの場として必要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	現在の運用はまだ実績が少ない状況下のものであるため今後の合理化の可能性がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民の良好な学習の場となっているため必要である。廃止・休止は市民活動に支障を来す。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	維持管理の必要な外部委託事業は類似施設でも重複する作業があるため一本化した契約管理は可能である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	平成25年度から職員1名と臨時職員1名の体制で基本的な管理をしているためこれ以上の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	減免規定が難解であり、分かりやすいものとする必要がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	開館5年目に入り、日常の維持管理に関する作業は軌道に乗ってきている。但し、外部委託事業については他の市施設との一括契約など検討の余地がある。																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 使用料の減免規定が曖昧になっていることから、早急な検討が必要。 他の類似施設との使用料の平準化が必要	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下	○		
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下	○																					
(6) 事務事業優先度評価結果																							
成果優先度評価結果	⑦																						
コスト削減優先度評価結果	①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>